

B 実験室で困っている様子のマヒルにマヨが声をかけた。

マ ヨ：どうしたの。

マヒル：ヒトとウサギとニワトリの血しょうからアルブミンを精製して、冷凍庫に保存しておいたんだけど、容器に貼り付けたラベルがとれてしまって、どれがどれだかわからないの。

マ ヨ：それは大変だね。せっかく精製したのにね。

マヒル：もう一回精製しないとダメかな。

マ ヨ：(d)ウサギやニワトリからアルブミンに対する抗体を含む血清が得られれば何とかなるよ。

マヒル：どうすればいいの。

マ ヨ：まず、アルブミンの入った三つの容器にそれぞれアルブミンⅠ、アルブミンⅡ、アルブミンⅢと書いて。

マヒル：うん、書いたよ。

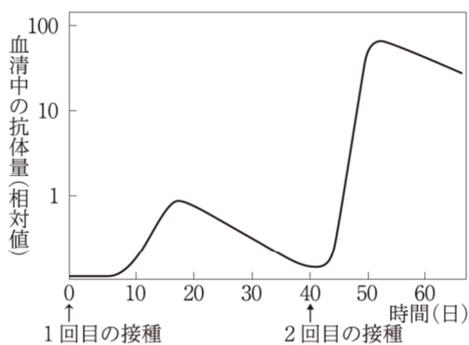
マ ヨ：そのアルブミンⅠ～Ⅲを混ぜたものをウサギとニワトリにそれぞれ接種して、2～3週間後に血清を得るの。そして、その血清とアルブミンⅠ～Ⅲをそれぞれ反応させて、抗原抗体反応によって沈殿が生じるかどうかを調べるのよ。

マヒル：そうか、ありがとう。(e)やってみるよ。

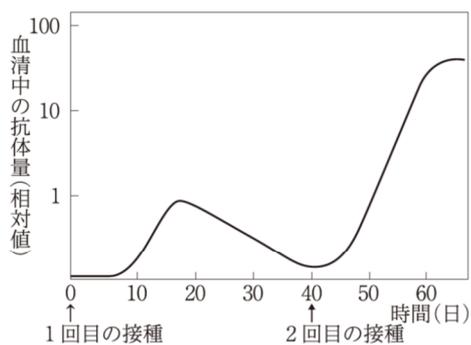
問5 下線部(d)に関連して、抗原 X に対する抗体を含む血清を得るため、これまでに抗原 X を接種したことのないウサギに 40 日の間隔をあけて抗原 X を 2 回接種した。このとき、ウサギの血清中に含まれる抗原 X に対する抗体量の変化を示すグラフとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

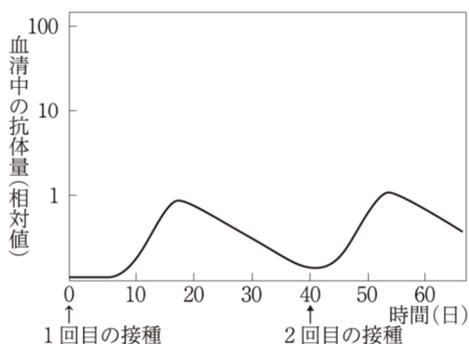
①



②



③



④

